

1 事業の概況

平成 28 年度より、当事業団が江東区から受託している事業である。いわゆる就労準備性の低い生活保護受給者や生活困窮者に対して、日常生活自立、社会生活自立、就労自立をそれぞれ図る支援を実施する事業である。事業の立上げから、更生施設塩崎荘との連携を中核にしながら、多様な支援プログラムの導入・定着を図り、一定の実績をあげてきている。その例として、平成 28 年 12 月現在セミナーには延 642 人、所内作業には延 542 人もの参加実績をあげている。平成 29 年度では、こうした実績を踏まえて、事業運営全体の効率性を精査しながら更に充実させていく。

2 主要目標と取組

(1) 利用者本位の支援の徹底

利用者の多様なニーズに寄り添い、応えられる支援体制の強化のために次の取組をする。

① 支援プログラムの充実

ア プログラムの支援効果の精査を徹底し、いわゆる「スクラップアンドビルト」を徹底する。（例として、これまでの「園芸」を見直し「農業体験」に転化し、さらに、農家見学・宿泊農業体験に展開させる。）

イ 塩崎荘との連携を強化し、その機能（就労訓練事業、無料職業紹介所）、マンパワー（看護師・栄養士・職業相談員）を効果的に活用する。さらには、昨年度からの課題である工場見学先・就労体験先の確保に向けて協働していく。

② 関係機関等との連携

ア 江東区とは、これまで以上に連携を強化する。中でも江東区生活自立支援事業部門とは、より積極的に情報共有化・協働支援等を進める。

イ ハローワーク、就労移行支援事業所、ボランティア団体、協力企業（工場見学、就労体験先）との連携を強化する。

(2) 年間の数値目標

	利用定員	延べ支援対象者数	プログラム等実施数		
			セミナー実施回数	就労体験	支援通信発行
平成 28 年度（見込）	60 人	75 人	380 回	240 回	12 回
平成 29 年度	60 人	90 人	300 回	240 回	12 回

3 管理運営

(1) プログラム等の実施

- ①セミナー等（週 3～4 回） ②所内作業体験（毎平日） ③所外就労体験（適時）
④所内農業体験（月 2 回） ⑤宿泊農業体験（年 3 回） ⑥クリーンデー（週 1 回）
⑦ウォーキング（月 1 回）

(2) 事業運営の効率化

- ①支援マニュアル作成 ②職員のスケジュールの共有化

(3) アウトリーチの充実

4 その他

(1) 職員の育成

- ①多様な心理特性を持つ利用者への対応能力向上を図るための専門分野研修参加
②清掃業務・農作業上の準ジョブコーチ育成
③ケース検討会の定例的開催（必要に応じて外部関係者参加も図る。）

(2) 情報の発信（パンフレットの発行・平成 28 年度センター事業実績報告書作成）

(3) 地域住民との交流（バザー、ボランティア活動）

(4) 個人情報管理の徹底